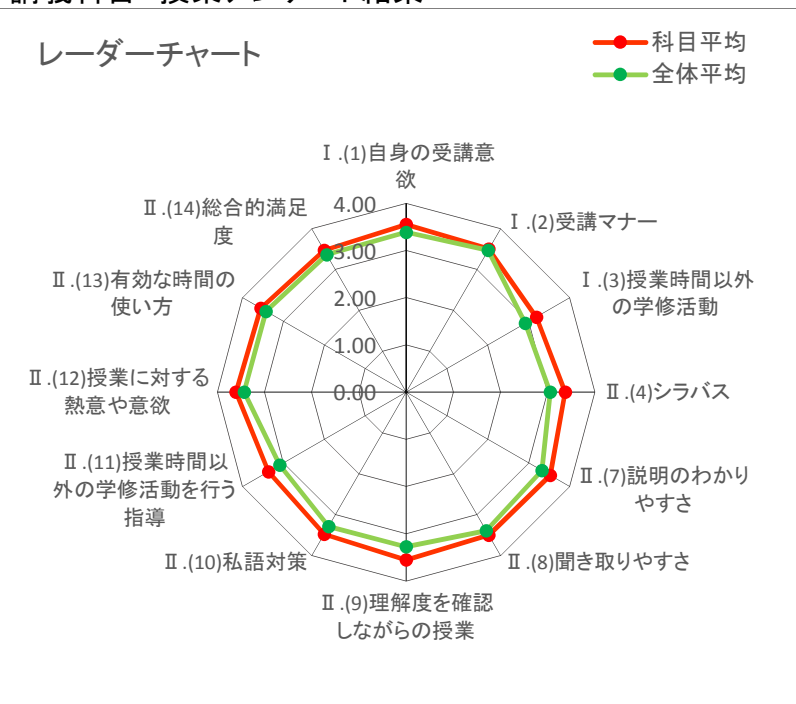
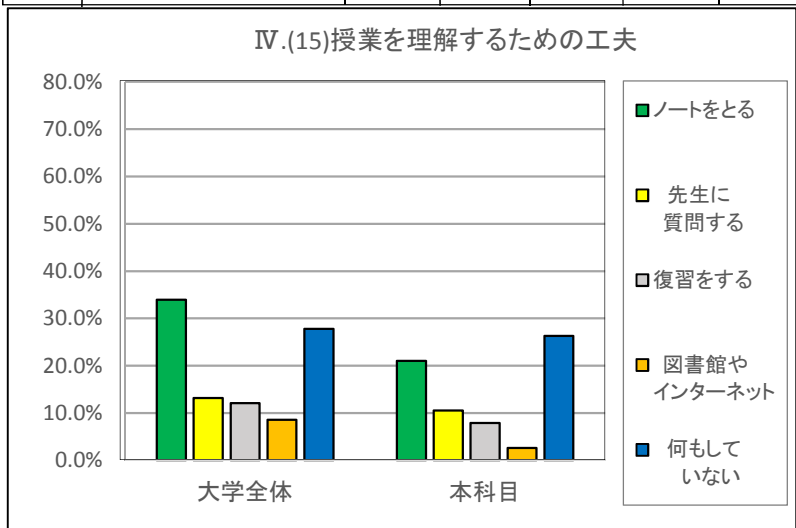


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	21.1%	10.5%	7.9%	2.6%	26.3%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度 後期
時間割番号	24309
科目名	会計学原理Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

会計学原理の目的は現実の会計を理解するための入門的な会計知識の習得である。本科目は前期の会計学原理Ⅰから引き続きの内容であり、受講生であった。この後期の授業においては大学生用の教科書を中心に、実務の入門書等のプリントを配布して講義を行った。重要な財務会計の分野を講義をし、インターネットからのデータを用いた演習やアクティブラーニング的な授業も取り入れることにより、有意義な講義ができ、授業計画である入門会計知識の習得を達成できた。

②授業の進め方について

座席指定で授業を実施し、大教室であったがマイクを用いずに大きな声で明瞭に説明した。これらの講義方法が、静かな環境を保て学生にとって良かったことが、「自身の受講姿勢」「講義内容・方法」の設問の数字に現れていると思われる。これは学生の「総合的満足度」にも見られ、学生にも本講義は適切と思っているようである。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

「総合的満足度」を含め、設問の全ての数値が全体の平均を上回っており、普段からの学生から聴取している授業の印象を表していると思われる。学生に対しては出席を継続することを要求し、知識を得る努力は必要であることを力説した。今回の学生の高評価に甘えず、今後も学生の意見を聞きながら授業を改善する予定である。

	設問No	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.55	3.39
	I.(2)	3.50	3.47
	I.(3)	3.18	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.37	3.05
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.53	3.32
	II.(8)	3.50	3.39
	II.(9)	3.55	3.27
	II.(10)	3.47	3.28
	II.(11)	3.37	3.09
	II.(12)	3.61	3.43
	II.(13)	3.55	3.43
満足度	II.(14)	3.47	3.36

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.41	3.26
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.49	3.28
II.(4)~(13)		
総合的満足度 III.(14)	3.47	3.36